

環境活動レポート

2009年度実績

Your Global



Partner.

グローバル＝コストパフォーマンス×きめ細やかさ。
これがトランスコスモスのITパートナー方程式です。

The Marketing Chain Management Company
トランスコスモス株式会社

2010年5月

会社概要

| | |
|-------|--|
| 社名 | トランスコスモス株式会社[商号 トランス・コスモス株式会社](transcosmos inc.) |
| 本社所在地 | 〒150-8530 東京都渋谷区渋谷3-25-18 TEL.03-4363-1111(大代表) FAX.03-4363-0111 URL. http://www.trans-cosmos.co.jp |
| 設立年月日 | 1985年6月18日 |
| 資本金 | 290億6,596万円 |
| 従業員 | グループ: 15,634名(国内: 10,534名、海外: 5,100名) 本体: 9,035名(2010年3月末現在) |
| 売上 | 連結: 151,589百万円、単体: 124,280百万円 (2010年3月期) |

【事業所】

| | |
|------|--------------------------------------|
| 本社 | 〒150-8530 東京都渋谷区渋谷3-25-18 |
| 大阪本部 | 〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-3-5 梅新第一生命ビルディング |
| 国内拠点 | 札幌、仙台、横浜、名古屋、和歌山、福岡、熊本、宮崎、沖縄 |

事業の概要

以下のサービス業務

- コールセンター
インバウンドサービス、アウトバウンドサービス、コールセンターシステムの構築・運用
 - ビジネスプロセスアウトソーシング
サポートデスク、システム構築、ビジネスサポート、開発・設計、ITものづくり支援
 - ビジネスプロセスソリューション
データエントリー、イメージファイリング、中国エントリー、ペーパーレス、e文書管理、電子申込書サービス
 - デジタルマーケティング
インターネット広告、Webサイト構築・運用、モバイル
 - 中国オフショア開発
低コスト・高クオリティなオフショア開発
 - 海外事業
中国・韓国・タイ・シンガポール・アメリカを中心に多彩なサービスを提供
 - B to C 事業
B to C(個人向けメディア)事業の開発
- ※詳細は当社ホームページをご覧ください。
URL. <http://www.trans-cosmos.co.jp/service/>

対象範囲(認証・登録範囲)

| | |
|--------|---|
| 事業所 | 渋谷本社: 2,250名 大阪本部(3拠点): 470名 計: 2,720名(2010年3月現在) |
| 対象活動範囲 | デジタルマーケティングサービス、コールセンターサービス、ビジネスプロセスアウトソーシングサービス、ビジネスプロセスソリューションサービス等の営業活動を含む事業領域に関する本社及び大阪本部における環境管理活動 |
| 拡大方針 | 2015年度 全拠点取得に向けて段階的に拡大予定 |

環境方針

私たちは、デジタルマーケティングサービスを中心としたアウトソーシングを通じて環境保全に貢献します。

トランスコスモスは、地球環境・地域環境保全を事業活動全般に含まれるものと真摯に受け止め、以下の項目に全社員が自ら責任を持って持続的かつ計画的に取り組んでいき、情報処理アウトソーシングサービスを通じて循環型社会の実現と環境保全に貢献します。

【行動指針】

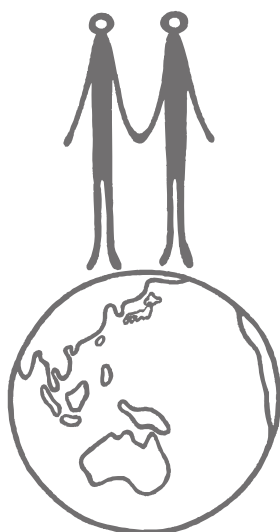
1. 事業活動の全領域で、省資源・省エネルギー・資源の再利用に配慮することを推進します。
2. 環境関係法令の遵守はもとより、環境経営システムおよび環境保全実績を継続的に改善できるように推進します。
3. 環境教育、社内広報活動の実施により、すべての社員に環境方針を周知徹底すると共に環境保全に関する意識を高め、広く社会に貢献します。
4. 環境に配慮したビジネスプロセスの設計およびサービスの提供を推進します。
5. お客様企業の環境保護活動に合致したサービスを積極的に提供します。

【環境目標】

- 電力使用量の削減
- 紙の使用量の削減
- 廃棄物排出量の削減および再資源の利用率の向上
- 水道使用量の削減

2007年3月

代表取締役会長兼CEO 船津 康次
代表取締役社長兼COO 奥田 昌孝



環境目標と実績

■2009年度目標値

| | | | |
|-------------|---------|-------|---|
| ・電気使用量 | 昨年比 | 1%削減 | ※ 平日18時以降および土・日・祝祭日の空調費用 入居ビルの都合上 渋谷本社のみ対象 |
| ・OA用紙使用量 | 昨年比 | 3%削減 | |
| ・時間外空調費用(※) | 2007年度比 | 11%削減 | |

| | | | |
|------------------|-------|--|--|
| 【中期目標】 | | | |
| 2013年度までに2008年度比 | | | |
| ・電気使用量 | 5%削減 | | |
| ・OA用紙使用量 | 11%削減 | | |
| 2012年度までに2007年度比 | | | |
| ・時間外空調費 | 14%削減 | | |

■結果と推移

【渋谷本社】

| | 昨年比 | 2009年度 | 2008年度 | 2007年度 |
|--------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| CO2排出量 | -11.9% | 1,708t-CO2 | 1,939t-CO2 | 2,009t-CO2 |
| 電力 | -11.0% | 3,000,564kWh | 3,371,754kWh | 3,509,468kWh |
| OA用紙 | -28.1% | 10,325,000枚 | 14,370,000枚 | 15,600,000枚 |
| 水道 | -8.5% | 21,167m3 | 23,131m3 | 22,778m3 |
| ゴミ排出量 | -17.0% | 167,026kg | 201,237kg | 241,367kg |
| ガソリン | -29.9% | 12,162L | 17,344L | 16,260L |
| 時間外空調費 | -14.1% | (非公開) | (非公開) | (非公開) |

【大阪本部】(※)

| | 昨年比 | 2009年度 | 2008年度 | 2007年度 |
|--------|---------------|------------|------------|------------|
| CO2排出量 | -23.2% | 221t-CO2 | 289t-CO2 | 238t-CO2 |
| 電力 | -24.6% | 604,013kWh | 800,782kWh | 629,646kWh |
| OA用紙 | -13.6% | 2,390,000枚 | 2,765,000枚 | 3,105,000枚 |

※大阪本部は入居ビルの都合上、共有部分の数値把握が困難なため、算出可能数値のみ測定。
また、ビルの移転、複数ビルへの分散なども伴っているため推移は参考値となる。

【結果】

電力、紙使用量共に設定した目標値を大きく達成し、その他の環境負荷についても昨年より軽減した。

電力、空調費の削減については空き座席を集約し、未使用エリアの消灯・空調OFFの実施に加え、昼休み・夜間の自動消灯などを実施したことが効果を上げた。

紙使用量については、印刷時に認証機能を要するプリンタ・コピー機に入れ替えることにより(渋谷本社)、印刷紙の取り忘れ、印刷ミス時のキャンセルが可能になったことなどが紙使用量の大きな削減につながった。

さらに昨年度は各部門における環境目標の設定と目標値達成のための積極的な活動により、従業員への浸透も図られ、この積み重ねも環境負荷軽減に貢献した。

環境活動計画と主な取り組み

従来の活動に加え、2009年度に新たに取り組んだ主な内容。

1. 各組織・従業員の意識向上

(1) 各部門毎の目標設定・計画による活動の実施

全社目標に加え、各部門においても環境目標と数値目標を設定し、目標値達成のための計画・活動を実施。途中結果のレビューを各部門のトップに行うことなどのルールを提示し、各組織内でトップダウンの活動を推進した。

(2) ISO9001・27001を推進してきたノウハウの活用

コールセンター、サービス部門においてISOを認証取得し、拡大してきた手法を環境活動においても取り入れ、全部門・従業員への浸透を図った。

- ・研修資料、研修プログラムの改善
 - ・内部監査手法の変更
 - ・是正処置の実施及び有効性の確認
- など

【結果】過去の審査において、毎回一部従業員が認識不足の指摘を受けていたが、2009年度更新審査において同指摘はなく、全て適合(A評価)で認証継続。

2. 紙使用量削減の取り組み

(1) 認証機能付き複合機(プリンタ・コピー)の導入(渋谷本社)

プリントアウトの際、ICカードによる認証を要する複合機に入れ替えた。

(2) 印刷ログデータの活用

プリント・コピー使用のログデータから毎月の紙使用量、カラー印刷、両面縮小印刷の状況を部門別に集計して提供し、改善を促した。

【結果】プリンタへの印刷物の放置がなくなった。

部門・個人毎の紙使用量を把握できるため、原因を追及し改善につなげやすくなった。

3. 電気使用量削減の取り組み

(1) 昼休み、夜間(21:00)一斉消灯の実施

消灯の自動設定を行い、業務で必要なエリアのみを再点灯するようにした。

(2) デスクトップPCからノートPCへの切り替え

リース期限の切れたPCを消費電力の少ないノートPCに順次切り替え中。

(3) レイアウト変更によるフロアの効率的利用

空き座席を集約し、無人エリアの消灯・空調OFFの実施。

【結果】電力、空調費を大幅に削減し、昨年比1,000万円以上の費用削減につながった。

4. エコキャップへの協力

社外への貢献としてエコキャップ活動に協力(渋谷本社)。ビルの清掃会社に協力してもらい、キャップを貯めてエコキャップに提供。

2009.5月～2010.3月提供数 113,560個(45L袋×30袋)

ワクチン142人分



昨年度は各部門における様々な取り組みにより従業員の環境に対する意識が向上し、昨年よりも大幅に環境負荷軽減につなげることができた。

当社はオフィス業務が中心のため、製造業などに比べて環境負荷は少ないが、従業員数が多く事業活動を通じたCO2排出量が多い結果となっている。電力使用量、紙使用量についてはまだ削減は望めるため、データ分析を行いながらさらに削減を図っていく予定である。

今後、本社以外の拠点にも活動範囲を広めて社内全従業員の意識向上を図り、社内のみではなく顧客への省エネ提案や協力、家庭においても各個人が省エネに関わる取り組みを行うよう働き掛け、エコアクション21を通じて環境活動の取り組みを社外にも広めていく意向である。

環境関連法規等の遵守状況

関係する法令の必要な届出は行っており、違反もありません。

【主な関連法令】

廃棄物処理法、家電リサイクル法、消防法など

今年度より省エネ法、東京都環境確保条例の改正に伴い、関係法令に追加して適切な対応を行います。

代表者による全体評価と見直しの結果

昨年度、2度の報告を行っています。

代表者による主な指示事項

- ① 目標値達成が、従業員の変動による自然減ではなく活動の結果であるか、1人当たりのエネルギー使用量も算出して検証すること。
【結果】1人当たりの電力使用量-5%、紙使用量-27%削減していることを再報告。
- ② 顧客企業に当社の環境活動をPRし、顧客の環境活動にも協力していくこと。
【結果】顧客と関わる部門の目標に取り入れ継続促進中。
- ③ 社内の優秀な取り組みに対する表彰を企画すること。
【結果】2010年度に企画予定

| | |
|----------|---|
| 発行日 | 2010年5月 |
| レポート対象期間 | 2009年4月～2010年3月 |
| 発行 | トランスコスモス(株) コンプライアンス推進部 エコアクション21事務局 |
| 環境管理責任者 | 梅村和広 |
| ea21担当 | 浅賀 淳 |